

現代日本学概論 II 「現代日本における職業」

期末レポートについて

田中重人 (東北大学文学部教授)

[テーマ] 期末レポート計画について

1 期末レポート課題

課題: 2025年の報道から職業に関連する記事を1つ選び、この授業の内容と関連付けて説明する (2000字以上、50点相当)

「計画」の提出締切を12月5日としていました。

その後のスケジュールは以下のとおり:

- 計画内容について教員からコメント (必要なら個別に相談方法と日時を決める)
- 1月16日までにレポートの草稿を提出
- コメントを1月中に返すので、それを参考に書き直すこと
- 2月6日までに最終版を提出

全員と個別面談するのは時間の確保がむずかしいため、順次コメントを教員から返すことにします。そのあとで、(教員または学生の判断に応じて) 必要であれば、個別に面談時間を設定します。

- 内容についてのコメントはあくまでも参考意見として付けるもので、したがうことを強制するものではありません (課題趣旨に沿っていないことの指摘をのぞく)。
- 計画を変更してまったく別の内容にすることもできます。そのために減点されることはありません。
- 計画や草稿が未提出でも、レポート最終版を出してかまいません (この場合、減点はされます)。

2 出題意図

このレポート課題のポイントは、「記事を1つ選」ぶこと、「授業の内容と関連付けて説明する」ことの2点です。

前者は、選んだ記事の内容をきちんと読み取ることを要求しています (これが意外とむずかしい)。たくさんの記事を参照する必要はなく、ひとつでじゅうぶんですが、細部まできちんと読んでください。その記事でなにが報道されているかの内容を精確に読み取れているかが重要です。精確に読むためには予備知識が必要で、そのためには他の文献を読まなければならない、ということはありませんので、そういう場合には、参考にした文献を適宜引用してください。

後者は、授業で学習した内容が身に付き、応用可能なものになっているか どうかを確認したいということです。「自家薬籠中の物」という言いまわしがありますが、学習したことをきちんと理解できていれば、他の知識を結び付けて使用でき、ちがう事柄にも応用できるはずだ、ということですね。

ということで、このレポート課題では、自分の選んだ記事と、授業で学習したことの両方がきちんと理解できていて、それを他人に説明できる、というところが重要です。「他人に説明できる」ということのなかには、他人が疑問を覚えるであろうことについて説明をあたえる、ということをふくみます。たいていの場合、記事の内容について要約するだけでは不十分です。たとえば、何らかの調査に基づいて書かれた記事の場合、その調査はどういう方法でおこなわれたもので、結果を読むにあたってどのような注意が必要か、といったことを説明する必要があり、そのために調査報告書等を参照しなければならないことがあります。

3 注意事項

- レポート課題にあわせて、中心になる記事をひとつ 選んでそれについて説明する体裁にしてください
- 取り上げる記事や文献の書誌情報（著者名、タイトル、出版社／雑誌名／サイト名等、日付、URL 等）を示してください
- インターネット上の記事は、あちこちのサイト（たとえば Yahoo! Japan）に転載されていることがありますが、必ずオリジナルのサイトのものを参照してください
- レポート採点にあたっては、最終版だけでなく、計画と草稿が期日と要件を守って提出されていたかどうかも考慮します。